

平成 28 年 4 月の解説（府県天気予報）

【4 月の天候状況】

上旬は、日本付近を高気圧と低気圧が交互に通過し、全国的に天気は数日の周期で変わりました。北日本日本海側や沖縄・奄美では高気圧に覆われ晴れた日が多くなりましたが、本州南岸を通過する低気圧の影響で西日本や東日本太平洋側では曇りや雨の日が多くなりました。

中旬も、本州付近を高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。低気圧が北日本付近で発達することが多かったため、北日本では北海道地方を中心に雪や雨となった日が多く、一時的に寒気の影響を受けて、平地でも積雪となった日もありました。17 日は低気圧が急速に発達しながら日本海を北東に進んだため、全国的に大荒れの天気となり、北日本と東日本日本海側では暴風となったところがありました。

下旬も、日本付近を高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。北日本日本海側では移動性高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、東日本太平洋側と西日本では低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。21 日は低気圧が本州付近を東進し、東・西日本で降水量が多くなり、27 日から 29 日にかけては低気圧が本州から北海道に北東進し、西・東・北日本で降水量が多くなりました。特に 29 日は寒気の影響で北海道では平地でも積雪となりました。また、沖縄・奄美では 27 日に前線の影響で大雨となったところがありました。

月平均気温は、全国的に高くなり、東・西日本と沖縄・奄美ではかなり高くなりました。館山、勝浦（以上、千葉県）では 4 月の月平均気温の高い方からの 1 位の値を更新しました。月降水量は、全国的に多くなり、西日本日本海側と沖縄・奄美ではかなり多くなりました。西郷（島根県）、平戸（長崎県）では 4 月の月降水量の多い方からの 1 位の値を更新しました。月間日照時間は、東日本太平洋側と西日本で少なくなりました。

【4 月の検証結果】

17 時発表の天気予報による「降水の有無」の全国平均の適中率は、明日予報は例年値^{（注）}より 3 ポイント高い 88% で、明後日予報は例年値より 3 ポイント高い 85% でした。各地方の適中率では、明日予報については、九州南部地方と沖縄地方を除く全ての地方で例年値より高くなり、近畿地方から九州北部地方にかけての各地方で 6～7 ポイント高くなりました。明後日予報では、全ての地方で例年値より高くなり、特に近畿地方で 11 ポイント高くなりました。

明日の最高気温の予報誤差は、全国平均で例年値より 0.2 小さい 1.7 となりました。東海地方以外の全ての地方で例年値より小さくなり、特に中国地方で例年値より 0.5 小さくなりました。最低気温の予報誤差は、全国平均で例年値より 0.3 小さい 1.3 となり、全ての地方で例年値より小さくなり、特に中国・九州北部・九州南部の各地方で例年値より 0.5～0.6 小さくなりました。

（注）例年値は気象庁HP（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【6 月の天気予報の利用にあたって】

例年、6 月は、南西諸島付近に停滞していた梅雨前線が次第に北上して、九州や四国、本州付近に停滞することが多くなります。平年では、6 月上旬から中旬頃にかけて、西日本、東日本および東北地方で梅雨入りとなりますが、梅雨入りの時期や梅雨の期間、天候経過などは年によって違いがあります。

梅雨の時期は他の季節に比べ、大雨が発生しやすく、山崩れやがけ崩れ等の土砂災害、河川の増水や氾濫など災害をもたらすことがあります。雨の天気予報が出ているときには、最新の気象情報や、大雨・洪水の警報・注意報などに留意してください。